

医師過労死に700万円

士別市が遺族に見舞金

【士別】士別市は、

市立士別総合病院(現士別市立病院)から民間病院へ転勤直後に突然死し、過労による公務災害と認定された小児科医の男性(当時31)の遺族に対し、見舞金7000万円を支払う方針を決めた。

18日開会の臨時市議会に議案を提案する。地方公務員災害補償基金道支部が08年に医師の突然死を公務災害と認定したことなどから、遺族は今年3月、市が安全配慮義務に違反したと損害賠償を請求。市は「早期解決が望ましい」として、見舞金を支払うこととし

た。

医師は02年10月から市立病院に勤務し、03年10月、上川管内の民間病院に移って6日目に死亡した。

当時、市立病院の小児科医は定員5人に対する

過重労働が続くすべての医療現場への警鐘になる」としている。

間病院に移って6日目に死亡した。

し3人だけで、月100時間超の時間外労働が続いていた。遺族の代理人の高崎暢弁護士は「市が違反を認めたと認識する。過重労働が続くすべての医療現場への警鐘になる」としている。

第24038号(日刊)

北海道新聞社 2009

2009年

9月13日 日

発行所：北海道新聞社
札幌市中央区大通西3丁目6
〒060-8711 電話：011-221-2111

読者センター

011-210-5888

ホームページ

www.hokkaido-np.co.jp

ご購入申し込み

0120-464-104
ヨムヨムドーション

